

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 8 月 17 日 (2017.8.17)

【公開番号】特開 2016-166171 (P2016-166171A)

【公開日】平成 28 年 9 月 15 日 (2016.9.15)

【年通号数】公開・登録公報 2016-055

【出願番号】特願 2016-15653 (P2016-15653)

【国際特許分類】

C 07K 16/00 (2006.01)

C 12P 21/08 (2006.01)

A 61P 35/00 (2006.01)

A 61P 37/06 (2006.01)

A 61P 17/00 (2006.01)

A 61P 37/08 (2006.01)

A 61P 11/06 (2006.01)

A 61P 7/06 (2006.01)

A 61P 9/00 (2006.01)

A 61P 13/12 (2006.01)

A 61P 29/00 (2006.01)

A 61P 21/00 (2006.01)

A 61P 19/02 (2006.01)

A 61P 1/00 (2006.01)

A 61P 1/16 (2006.01)

A 61P 21/04 (2006.01)

A 61P 25/00 (2006.01)

A 61P 17/06 (2006.01)

A 61P 17/04 (2006.01)

A 61P 7/00 (2006.01)

A 61P 9/10 (2006.01)

A 61P 27/02 (2006.01)

A 61P 5/00 (2006.01)

A 61P 27/16 (2006.01)

A 61P 5/14 (2006.01)

A 61P 3/10 (2006.01)

A 61P 1/04 (2006.01)

A 61K 49/00 (2006.01)

A 61K 51/00 (2006.01)

A 61K 39/395 (2006.01)

C 12N 15/09 (2006.01)

【 F I 】

C 07K 16/00 Z N A

C 12P 21/08

A 61P 35/00

A 61P 37/06

A 61P 17/00

A 61P 37/08

A 61P 11/06

A 61P 7/06

A 61P 9/00

A 6 1 P	13/12	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	1/00	
A 6 1 P	1/16	
A 6 1 P	21/04	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	17/06	
A 6 1 P	17/04	
A 6 1 P	7/00	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	5/00	
A 6 1 P	27/16	
A 6 1 P	5/14	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 K	49/00	A
A 6 1 K	49/02	A
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	39/395	T
C 1 2 N	15/00	A

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年6月20日(2017.6.20)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 2】

代替的又は追加的な例において、本発明は、免疫グロブリン重鎖可変領域（ V_H ）と免疫グロブリン軽鎖可変領域（ V_L ）とを含む単離されたタンパク質であって、可変領域の少なくとも1つが、フレームワーク領域（FR）1内に位置する少なくとも2つのシステイン残基を含み、前記システイン残基の少なくとも1つが別の化合物にコンジュゲートされない場合に前記システイン残基間にジスルフィド結合が形成可能であるタンパク質を提供する。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 8

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 8】

代替的又は追加的な例において、前記システイン残基は V_H 内にあり、K a b a t付番方式により付番して残基2から30の間に位置する。好ましくは、前記システイン残基は、K a b a t付番方式により付番して残基7～20及び/又は残基24～30の間に位置し、より好ましくは残基7～20の間に位置する。さらなる例において、前記残基は、K a b a t付番方式により付番して残基6～16の間に位置する。さらなる例において、前記残基は、K a b a t付番方式により付番して残基7～16の間に位置する。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

代替的又は追加的な例において、前記システイン残基はV_L内にあり、K a b a t 付番方式により付番して残基 2 から 2 2 の間に位置する。好ましくは、前記システイン残基は、K a b a t 付番方式により付番して残基 7 ～ 2 0 の間に位置する。さらなる例において、前記残基は、K a b a t 付番方式により付番して残基 7 ～ 1 9 の間に位置する。さらなる例において、前記残基は、K a b a t 付番方式により付番して残基 7 ～ 1 7 の間に位置する。